

いいたて希望の里学園 前期課程



観察をしてまずは自分の手を描きました。



手に着目して、家族や先生、友達を描きます。



同行した写真家の石井麻木さん(右)とも交流。



手の物語を集めて絵本の原案を話し合います。

こども園の園児は、想像をふくらませて、雲の写真にのびのびと落書きし、身近な野菜や花のスケッチも楽しみました。前期課程の児童は、絵本『ハグくまさん』を導入に、「手」が持つ物語に着目し、身近な人の手をモチーフに絵本の原画を描きました。今後もやりとりを続け、いせ先生と共同で絵本を制作します。

いせひでこ先生・柳田邦男先生のワークショップにて

6月12日から14日にかけて、絵本作家のいせひでこ先生とノンフィクション作家の柳田邦男先生によるワークショップが開かれました。

までいの里のこども園



「先生、描けたよ」雲の写真に自由に落書き。



雲の作品を飾り、読み聞かせて絵本の世界へ。



野菜や花を自由に選んで絵に描きます。



「みんな天才だね」と笑顔を交わす柳田先生。



4年生が 浄水場を見学

いいたて希望の里学園の4年生が、6月4日、滝下浄水場を見学しました。浄水場のさまざまな設備を実際に見学し、児童は全員が興味津々の様子でした。



滝下浄水場では、施設に入つて見学を行いました。児童は一人ひとりがきよろきよろと施設を見渡しながらいよいよ職員が説明を行うと、それぞれの場所での熱心にメモを取りました。また、「自分の家にどうやって水が送られているのか」「掃除はどのようにしているのか」など、自発的に質問をしていて、見学した内容をしっかりと学ぼうとする姿勢が見られました。見学後には、下水処理の豆知識が書かれたクリアファイルを贈られ、うれしそうに受け取っていました。



までいの里のこども園の3歳以上児が、6月7日、園の畑にサツマイモの苗を植えました。作業のコツを教わりながら、一人ひとりが丁寧に、緑の苗を植えていました。



サツマイモの 苗を植えたよ



園の畑は、いいたて希望の里学園の校庭の隣にあります。園から歩いて畑に着いた園児達は、学級ごとに並んで、苗植えの作業を行いました。畑の先生は、JAふくしま未来飯館営農センターから訪れた2人の職員さん。子ども達にも分かりやすく、苗植えの手順を教えてくださいました。子ども達は、土の感触を楽しみながら丁寧に苗を植え、やさしく水をかけていました。大きなおともが育つといいですね！